

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要				
事業開始年度	平成17年度		根拠法令・例規等	学校教育法第1条、2条、45条ほか
総合計画	大項目 基本構想	01 重点政策「教育」	問 担当課(室)	教育総務課
	中項目 基本計画	01 将来を担う人材が育つまち		
	小項目 施策	03 小・中学校教育の充実		
事務事業名	05	中学校耐震化事業	合 先 職・氏名	係長 森 優
			電 話	0869-64-1802
	このシート作成に要した時間			1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	市立中学校生徒	
目的 (何のために)	中学校施設耐震化により、安全安心な教育環境を整備する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	中学校校舎等の耐震化	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	中学校耐震化事業	市立中学校校舎(5校)の耐震化	◎

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
	事業費	直接事業費	円	335,975	29,897	411,366	
	必要人員費	人件費	千円	0.66人	4,716	0.79人	4,592
	事業費	費	千円	340,691	34,489	416,165	
	財源	国	県支出金	円	110,230	4,847	155,656
		受	益者負担				
		繰	入金	千円			
		市	債	円	190,200	24,400	163,900
		その他( )	債	円	58		
一	般財源	円	40,203	5,242	96,609		
受	益者負担比率	%	-	-	-		

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	耐震化事業単位数	説明	1㎡当たりの中学校耐震化事業費		
	結果指標量	㎡	2,631	0	2,977
	対前年比	%	-	0.0%	
	活動コスト	円	340,691,000	34,489,000	416,165,000
単位当たりコスト		円	129,491	#DIV/0!	139,793

事業の成果						(平成25年度事業)	
中学校耐震化率	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
	目標値(A)		51.7	59.3	56.3	75.0	
	実績値(B)		59.3	56.3	75.0	到達目標値	
	達成率(B/A)		114.70%	94.94%	133.21%	100.0	
成果指標設定の考え方・式や説明							
中学校校舎、屋内体育館等(棟別)の市算定値							

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >			Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性 必要性	■	市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	
		□	法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		
□	現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない				
□	事業の内容が一部の受益者に偏っている				
□	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている				
□	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である				
効率性の評価	コスト 手段	■	事業開始当初の目的から変化してきている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	
		□	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
■	厳しい財政状況であるが、実施する必要がある				
□	単位当たりコストは前年度と比較して改善している				
□	実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある				
□	事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある				
有効性の評価	目的達成度 市民参画度	■	受益者負担率は適正である	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	
		■	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
		□	最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		
		■	成果指標の設定は適切である		
		■	成果指標の到達目標値は達成できそうである		
		■	成果指標達成率は前年度と比較して向上している		
□	成果指標達成率は80%未満となっている				
□	現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない				
□	法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい				
□	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している				
□	事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している				

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
説明	中学校武道場の耐震化を含め耐震診断結果に基づき市立学校園間で改修順位付けしながら計画的に事業化しており、本年度は日生中学校の実工事費を含む事業実施を予定する。今後、学校耐震化完了目標年度(平成27年度)を設定し事業を加速化していく方針である。						

総合評価		C
耐震診断を終え市立学校園間で改修順位付けしながら計画的に事業化している。事業完了目標年度を設定して事業の加速化に取り組む。		
		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
取組目標	生徒が安心して教育が受けられるよう施設環境の整備準備を進め、安全・安心な教育施設整備という喫緊課題解消のため事業化を推進していく。改築改造に当たっては、地域防災に対する備えや環境保全対策となるよう考えていく。						

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Check

Action